

下痢・嘔吐の対応

* 感染予防のため適切な処理と手洗いをしっかり行う

(液体石けんを用いて流水で 30 秒以上実施)

* 繰り返す下痢、嘔吐、発熱等の症状があるときは、別室で保育する

1) 嘔吐の対応・ケア

- ① 何をきっかけに吐いたのか(咳で吐いたのか、吐き気があったのかなど)を確認する
- ② 感染症が疑われるときには、応援保育士を呼び他児を別の部屋へ移動する
- ③ 吐物を覆い嘔吐した児の対応にあたる
 - ・うがいのできる子どもはうがいをさせる
 - ・うがいのできない子どもは口内に嘔吐物が残っていれば、見えている嘔吐物を丁寧に取り除く
 - ・嘔吐しないか様子を見る
- ④ 嘔吐物の処理後・病児のケア後は液体石けんを用いて流水で 30 秒以上手洗いを
行う
- ⑤ 別室で保育しながら、保護者の迎えを待つ
- ⑥ 寝かせる場合は、嘔吐物が気管の入らないように体を横向きに寝かせる
- ⑦ 30 分後くらいに吐き気がなければ、様子を見ながら経口補水液等を少量ずつ頻回
に飲ませる

嘔吐物の処理方法

- ① 嘔吐物の処理をするときは、必ず使い捨ての手袋・マスク・エプロン(袖付きが望ましい)を着用して直接ふれないようにする
- ② 嘔吐物を外側から内側に向かって静かに使い捨ての布やロールペーパーなどで覆い拭き取り、ビニール袋に入れ、周囲を汚さないように移動して廃棄する
- ③ 嘔吐した場所を使い捨ての雑巾で汚れた場所を消毒 0.1%次亜塩素酸ナトリウム液で消毒する
- ④ 換気を行う
- ⑤ 作業が終わったら手洗い(液体石けんを用いて流水で 30 秒以上実施)を十分に
行う また、状況に応じて、処理時に着用していた衣類の着替えを行う
- ⑥ 汚染された子どもの衣服は、汚れを落とし、0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液に 10
分間浸し、水洗いする。色物や柄物などは 85°Cの熱湯で 1 分でも効果がある。消毒後は、他の物と分けて最後に選択する。

* 汚れがひどい場合は処分する

(吐物の処理グッズ)

・使い捨て手袋 ・使い捨てマスク ・使い捨て袖付きエプロン ・ビニール袋 ・使い捨て雑巾 ・次亜塩素酸ナトリウム液

2) 下痢の対応・ケア

* おむつ交換は決められた場所で行う

- ① 下痢を処理するときは必ず使い捨ての手袋・マスク・エプロン（袖付きが望ましい）を着用して直接ふれないようにする
- ② 使い捨ておむつ交換専用シートを敷き、取り替える
- ③ お尻がただれやすいので頻回に清拭する
- ④ 沐浴槽等でのシャワーは控える
- ⑤ 汚れ物はビニール袋に入れて処理する
- ⑥ 便の処理後は液体石けんを用いて流水で 30 秒以上手洗いを行う

(便の処理グッズ)

- ・ 使い捨て手袋 ・ ビニール袋 ・ おむつ交換専用シート ・ 次亜塩素酸ナトリウム液
- ・ 使い捨てマスク ・ 使い捨てエプロン

* 次亜塩素酸ナトリウムの希釈法

- ・ 糞便や嘔吐物が付着した床 衣類の浸け置き 0.1% 水 1L に対して約 20ml (500ml ペットボトルにキャップ 2 杯弱)
- ・ 食器等の浸け置き トイレの便座・ドアノブ・手すり・床等 0.02% 水 1L に対して約 4ml (500ml ペットボトルにキャップ 0.5 杯弱)